

フルスタックソリューションで成果を最大化： ネットワーキングで AI を最大限に活用するには

クラス最高のフルネットワーキングスタックの真価を引き出し比類ないエクスペリエンスを実現



目次

- | | | | |
|----|---------|----|------------|
| 01 | はじめに | 05 | 成果の向上 |
| 02 | 重要なポイント | 06 | テクノロジーを超えて |
| 03 | AI の有望性 | 07 | 現在のフルスタック |
| 04 | 入力の重要性 | 08 | アクションガイド |



AI の時代に再考するキャンパスおよびランチ向けネットワーキング

世界各地の最高経営責任者（CEO）が、ビジネス全体に AI（人工知能）を導入するよう企業に指示を出しています。目的は、運用を変革して潜在的な収益を活用することです。また、IT ネットワークを含むあらゆる分野のベンダーが、この機会を活用して逃すまいとしています。

複雑で高価なキャンパスおよびランチネットワーク環境を管理するネットワーキングリーダーは、極めて重要な疑問を抱くことでしょう。

- AI で実現できるメリットはいくつあるのか？
- 適切なリスク許容度は？
- 出力を最適化する最善の方法は？

幅広い導入オプションがある状況では、ベンダーの先見性、能力、専門知識によってもたらされる実相がこれまで以上に重要になっています。さらに、AI を推進するベンダーは、次のような複数のカテゴリーに分類できるといえます。

- フルスタックをキャンパスやランチに統合できない、雑多な AI 機能を持つ孤立したニッチなベンダー
- フルスタック運用の効率化を錯覚させる、さまざまなボルトオンの AI ソリューションを売りにしたベンダー
- AI の真価を最大限に引き出せるよう一から設計された、実績あるフルスタックアーキテクチャを持つベンダー

ジュニパーの AI ネイティブでクラウドネイティブのフルスタックソリューションポートフォリオの詳細をご覧ください。

[詳細はこちら→](#)

後者はネットワーキングにおける重要な進化を表しています。クラス最高のネットワーキングコンポーネントと革新的な AI ネイティブの機能を緊密に統合することで、運用担当者とユーザーのエクスペリエンスの向上、ひいては現代のネットワーキング環境における「フルスタック」という言葉の再定義につながります。

ジュニパーは、今日の最先端のフルスタックネットワークが企業の進化するニーズに応えるためには、高度にダイナミックで拡張性に優れている必要があると考えています。また、ユーザーエクスペリエンスを終始高め、保護しながら管理を簡略化してコストを削減する、AI や自動化の機能を備えている必要もあるでしょう。

この ebook では、進化の事例をご紹介します。AI ネットワーキングにおけるデータの役割や、連携するエンタープライズクラスのフルスタックソリューションについて考察します。また、IT ネットワークにおける AI ソリューションの成果を最大限に高めるうえでの質の高いデータ入力的重要性についても掘り下げていきます。

それでは始めましょう。

成果の最大化

ネットワーク運用におけるパフォーマンスと効率の最大化は、LAN および WAN のネットワーク全体において比類ないユーザーエクスペリエンスを実現し、保護することに特徴付けられます。これには、革新的な拡張性と俊敏性、優れたエンゲージメント、運用の簡略化、最低限の TCO および OpEx の達成が含まれます。

重要なポイント

予測分析やメンテナンス、自動化、インテリジェントなネットワークモニタリングなどの機能を備えた AI は、ネットワーキングにおける変革の力として台頭しました。キャンパス環境や分散したブランチ環境では、正しい「フルスタック」のアプローチを取ることで、複雑さやコストをさらに抑えることができます。

01

「マーキテクチャ (marchitecture)」を超える真のフルスタック

最新の戦略では、100% オープン API アーキテクチャに支えられたハードウェアとソフトウェアの統一されたアプローチ (AI に対しても含む) を採用し、運用を合理化してエクスペリエンスを高めています。

02

影響力が大きくリスクの低いネットワーキングにおける AI

ネットワーキングにおける AI は、ユーザーや IT 担当者に対して迅速かつ一貫した価値ある影響をもたらす能力が際立っています。

03

成果を最大化するクラス最高のフルスタックソリューション

LAN、WAN、セキュリティ、そしてそれ以外から AI へのインプットを収集して活用することで、かつてない機会がもたらされます。

04

先見性および成熟度の重要性

成熟したデータサイエンスアルゴリズムを継続的に学習し、厳選されたデータセットに応用することが極めて重要です。

05

企業が通知する継続的なオーケストレーション

ベンダーチーム内の編成やオーケストレーションが適切であることは、テクノロジーレイヤー以上に重要になります。

06

優れた AI ネイティブフルスタック

ジュニパーでは、ネットワーキングの可能性を変革する、AI ネイティブでクラウドネイティブの業界唯一のフルスタックソリューションを提供しています。

EMA の調査によると、**NetOps を成功に導くにあたっての最大の障壁**には、高度なスキルを持つ人材の不足、管理ツールの過多、低品質のネットワークデータ、ドメイン間の可視性の欠如などがあります¹

ネットワーク運用チームの 25% 近くが、モニタリング、管理、トラブルシューティングに 11 ～ 25 のツールを依然として利用しています²

ネットワークの問題の 30% が、手作業によるミスに起因します³

03 AI の有望性

ネットワーキングにおいて疑う余地のない AI の有望性

今日のキャンパスおよびブランチネットワークは、企業の循環系としても神経系としても両方の役割を果たしています。データの重要な流れを誘導し、迅速かつインテリジェントな対応を実現します。

各ネットワークのつながりは、生産性や革新性を推進し得る可能性に満ちています。しかし、この相互に接続された Web を管理することは、これまで以上に難しくなっています。

IT 運用チームは、急速に進化するビジネスニーズに苦心しています。拡大し続ける攻撃対象領域を巧妙な脅威から保護する難しさを突き付けられているのです。また、帯域幅のニーズを押し上げる新しいデバイス、接続タイプ、アプリケーションの急増にも対処しなければなりません。

拡張の必要性、リソースや予算の制約、専門スキルの不足の兼ね合いを図っても、複雑さが増すばかりです。

こうした状況で、ネットワーキングにおける真なる革新力として現れたのが AI です。実際に、最先端の AI ネットワーキングソリューションは、すでに多くの実際問題を大幅に軽減しており、時には解消すらしています。次に例を示します。

- **予測分析およびメンテナンス**：AI によるネットワーク管理ツールを利用することで、リアルタイムでデータを分析し、問題が発生する可能性を予測して未然に防ぐことができます。これにより、事前対応型のメンテナンスが実施できるようになり、ダウンタイムが短くなります。これには、潜在的なセキュリティ脅威の特定、異常の検出、ネットワークパフォーマンスの最適化が含まれます。
- **自動化およびオーケストレーション**：AI で自動化を強化することで、ネットワークの自己修復、自己構成、自己最適化が可能になります。これらはすべて、ユーザーや運用担当者のエクスペリエンスの向上に加え、手動介入の削減、全体的な効率の向上につながります。また、AI を活用したオーケストレーションツールでも、ネットワークプロビジョニングや変更管理などの複雑なプロセスを自動化することができます。
- **インテリジェントなネットワークモニタリングおよびインサイト**：AI を活用したモニタリングツールでは、ネットワークパフォーマンスをリアルタイムで可視化できるため、実用的なインサイトが手に入り、データに基づく意思決定が可能になります。AI ドリブンの分析機能では、傾向を突き止め、パターンを検出し、最適化、セキュリティ、容量の計画に関する提案を受けることができます。

こうした機能は現存してはいるものの、例外的なものであり、一般的なものではありません。日常業務を著しく変革するのに必要な統合機能やデータが不足しているソリューションがほとんどです。

「ネットワークスタックを精査して[ネットワーク]の問題箇所や修正方法の特定を試みる Tier 2/Tier 3 を自動化しようとしても、ドメインに依存しない多くの汎用 AIOps プラットフォームではそれが叶いません。こうしたプラットフォームはドメインのエキスパートではないのです」⁴

シェイマス・マックギリカディ、EMA の調査担当副社長

04 入力的重要性

データ入力の最適化から始まる成果の最大化

ネットワークキングにおいて AI や ML（機械学習）から価値を最大限に引き出すには、量、範囲、品質、タイミング、処理に加え、データを分析し活用するためのリソースが重要になります。要するに、AI を利用して効果的に行動できるかどうかは、現状を総合的に把握できるかどうかにかかっているのです。

何が起きているのか、どこで発生したのか、なぜ発生したのかを正確に把握することが、タイムリーに通知し適切に対応するうえで重要になります。また、質の高いデータはすべての要です。

格別なワインを生み出すプロセスがさまざまな要素に左右されるように、ネットワークキングにおける AI 向けの高品質データの生成もさまざまな要素に左右されます。適切なブドウ、土壌、熟成期間がワインに必要であるように、十分にラベル付けされ緻密に厳選された情報で多様なデータセットを構築するにあたっては、ネットワークキングの専門知識、真摯な取り組み、忍耐力のすべてが不可欠なものとなります。

ネットワークの健全性に関する基盤データを収集し、AI エンジンに投入することは誰もができるようにになりました。しかし、比類ないユーザーエクスペリエンスを実現し、誤検知を最小限に抑えることが可能な、真に影響力のある AI を構築するには、多くのことを考慮する必要があります。こうした目標を達成するには、組織の構造からハードウェアやソフトウェア開発、データスペクトル、ツールセットに至るまで、ベンダーはあらゆる事柄を考慮する必要があります。また、成熟したデータサイエンスアルゴリズムを継続的に学習し、厳選されたデータセットに応用することも極めて重要です。

さらに、ネットワークキングにおいて AI からの出力を最大限に高められるかどうかは、データ入力の量と多様性に左右されます。これこそが、AI ネットワークキングソリューションのほとんどが限定的となる状況です。現在、IT ネットワークソリューションには LAN からデータを収集するものも、WAN から収集するものもあります。しかし、LAN と WAN（およびその他）のどちらからもデータを収集して活用できるソリューション、いわゆる「フルスタック」はほとんどありません。これは、統合性と相互運用性を徹底するうえで、ベンダーの先見性が必須要件であることを強調しています。

AI ネットワークキングの向上における入力と出力の役割

良	優	秀
LAN または WAN	LAN および WAN	LAN、WAN、セキュリティ、位置情報、およびその他の AI ネイティブ機能を備えたもの
ネットワークキングパフォーマンスとセキュリティに関する断片的な視点を提示	ネットワーク運用のより全体的な視点を提示し始め、AI システムでより多くの情報に基づいた判断を実現	包括的なデータセットを実現し、AI システムの可能性を最大限に引き出す俯瞰的な視点を提示
メリットのスナップショット： 範囲が限定的であることで潜在的なメリットも限定的となり、効率化と脅威検出における基本的な強化を実現	メリットのスナップショット： ネットワーク管理を適度に改善し、ダウンタイムを短縮してより複雑な問題を特定	メリットのスナップショット： ● AI を強化することでネットワークパフォーマンスを先回りして最適化 ● 脅威の予測分析機能によりセキュリティを強化 ● パーソナライズされたユーザーエクスペリエンスを実現

ほとんどのベンダーが持つ従来の初期段階の AI ネットワーキングモデルを超越したジュニパーの AI ネイティブフルスタックアプローチは、ネットワークのイノベーションにおける次なる新境地となります。

05 成果の向上

AI ネイティブフルスタックアプローチがネットワークワーキングをいかに進化させるか

これまで、質の高いデータが AI の生命線となる理由や、ネットワークワーキングにおける成果を最大化するうえでネットワーク全体から質の高いデータを収集する必要がある理由をご説明しました。ここで、大きな疑問が生じます。あらゆるレベルで質の高いデータを獲得して利用し、ネットワークワーキングの成果を向上する最善の方法とはどのようなものなのでしょうか。

最善の戦略は、業界最先端のハードウェアとソフトウェアのスタックによる統一されたアプローチ（フルスタック）を採用し、パフォーマンスの最適化、運用の合理化、ユーザーエクスペリエンスとセキュリティの向上を図るというものです。このアプローチはマイクロサービスクラウドや 100% オープン API アーキテクチャを基盤とし、5G、ITSM、通信プラットフォーム、サイバーセキュリティ、モビリティといったドメイン全体の他の先進的なソリューションに拡張されます。

ジュニパーは、ネットワークワーキングデバイスをセンサーとして利用し、LAN や WAN に加え、統合型セキュリティや位置情報ベースの入力から包括的なデータを幅広く取得することで、従来のネットワークワーキングデータの収集を変革しています。例えば、ジュニパーのアプローチでカギとなる要素には、次のようなものがあります（大局的な視点については [12 ページ](#) を参照）。

- ・ **エンドツーエンドのテレメトリの強化**：予測分析用の Mist AI ™によって強化されたルーター、スイッチ、ファイアウォールからのテレメトリのストリーミングを介して、150 を超える無線ユーザーのステータスをリアルタイムで測定
- ・ **クラウドネイティブのマイクロサービスアーキテクチャ**：AI データのリアルタイム処理をサポートし、拡張性と耐障害性に優れた効率の高いネットワーク管理システム運用を実現
- ・ **共通の AI エンジン**：ネットワークデータ分析と意思決定のプロセスを Mist AI による単一のインテリジェントフレームワークに統合し、ネットワークエコシステム全体で運用の合理化、予測的な問題解決、アダプティブラーニングを促進

ジュニパーでは、詳細なテレメトリデータに基づきユーザーエクスペリエンスを継続的に学習することで、アプリケーションデータをネットワークデータとともに取り込みます。これにより、使用中のアプリケーションについて AI システムが学習し、ネットワークの状態の悪化に応じてユーザーのアプリケーションエクスペリエンスへの影響を予測できるようになります。

さらに、ジュニパーの先駆的な AI ネイティブ仮想ネットワークアシスタント、Marvis ™により、管理やトラブルシューティングが簡略化されます。Marvis には対話型インターフェイスが備わっており、問題解決を合理化し、アクションフレームワークを自動化し、ネットワークを継続的に改善します。さらに、業界初のデジタルエクスペリエンスツインである Marvis Minis も備えています。Minis は接続の問題を事前に特定して防ぐだけでなく、より良いネットワークエクスペリエンスをユーザーに提供します。

大規模なキャンパス環境や分散したブランチ環境では、こうした機能を組み合わせることで状況が一変します。コストが増大し、IT 運用チームに限界まで負担がかかり、ユーザーエクスペリエンスを悪化させ、拡張性や俊敏性を阻害する展開、トラブルシューティング、メンテナンスの課題を効果的に排除することができます。機能を組み合わせることで、エンタープライズネットワークワーキングアプローチを真に変革し、経時的に向上し続けるようになります。

05 成果の向上

大局的な視点で捉える

現代のフルスタックネットワークの基盤は、そのダイナミックな性質と、新しいネットワーキングドメインやその先のシームレスな統合を実現するのに欠かせません。適応力を高めることは、IT ネットワークの新時代の先駆けとなり、確立されたテクノロジーの従来の TCO モデルを覆し、運用担当者とユーザーのどちらのネットワークエクスペリエンスにも変革をもたらします。ここで、ジュニパーがいかにフルスタック運用を再構築するかを示す機能の例をいくつかご紹介します。

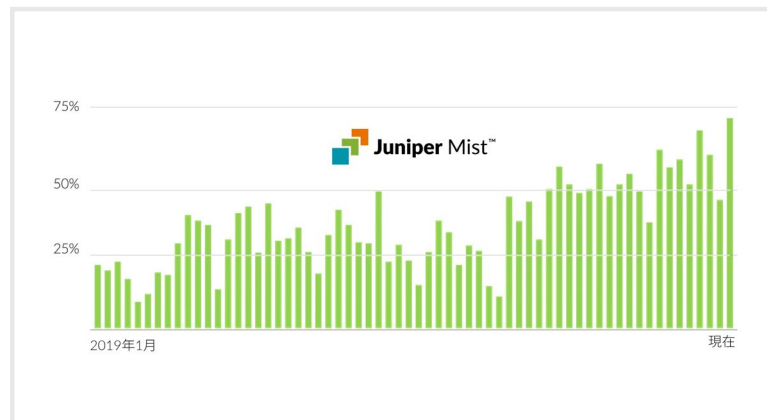


図 1
AI ネイティブのサポートが経時的に改善していることを示す、過去数年間にわたって AI が事前に解決した、お客様の IT ネットワーク障害チケットの割合

● 統合型屋内位置情報サービス

16 素子の Bluetooth® アンテナアレイを活用する無線 AP（アクセスポイント）で AP の配置や方向調整を自動化してアセットを正確に可視化し、ユーザーエンゲージメントを高めて業界全体のワークフローを強化する vBLE で屋内位置情報サービスの精度と拡張性を高めます

● 高パフォーマンスの SD-WAN

セッションスマートネットワーキングを使用するトンネルフリーでセッションベースの SD-WAN で、帯域幅の使用率を改善し、リアルタイムのネットワークの状態に応じて即時のフェイルオーバーを可能にします

● セキュア AI ネイティブエッジ

1つの運用ポータルにセキュリティ、WAN、LAN、NAC（ネットワークアクセス制御）を統合することで、有線スピードで脅威に対する優れたカバレッジを実現し、AI ネイティブの uZTNA および SASE ベースのアーキテクチャにおける重要な一歩を踏み出します

● データセンターとのシームレスな統合

業界初の VNA（仮想ネットワークアシスタント）で、キャンパスおよびブランチからデータセンターに至るまで、エンタープライズドメイン全体でエンドツーエンドの可視性とアシュアランスを実現します

● 高度なルーティングアシュアランス

従来のエッジルーティングテクノロジーに AI ネイティブの自動化とインサイトをもたらします

● Wi-Fi 6E および Wi-Fi 7 の最先端のハードウェア

AP は、拡張性や俊敏性を最大化しながら、ネットワーク運用を簡略化するように設計されています。Wi-Fi 7 の高電力スイッチには、建築設備の電力とデータを一元管理する事前対応型の機能が備わっています

06 テクノロジーを超えて

テクノロジーを超えて： 組織構造の重要性

フルスタックネットワークングアプローチで成果を最大化できるかどうかは、導入したテクノロジーのみに依存するわけではありません。組織構造にも大いに左右されるのです。

異なる技術レイヤー間やチーム内の編成やオーケストレーションが適切であることが、成功には欠かせません。

ジュニパーでは、ジュニパーのデータサイエンスチームやカスタマーサポートチームが協力し合えるよう、コラボレーション環境を構築しています。両チームが物理的にも運用上も連携し、高度な AIOps ツールを利用することで、お客様の問題やフィードバックをリアルタイムで把握し続けることができます。

この緊密なコラボレーションにより、ジュニパーのデータサイエンスのエキスパートやドメインのスペシャリストは、進化するお客様のニーズやソリューションへの優先順位付けに連携して対応し、継続的に成長することができます。

AIOpsには適切な組織構造が必要
「上位5つの問題をどのように解決するか？」

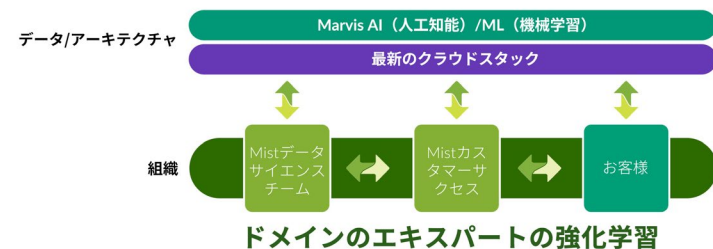


図 2

AIOps はデータにとどまることではありません。適切な組織構造も必要になります。

Zoom、Teams、ServiceNow、Cradlepoint、Zebra といったソリューションからのデータポイントを統合して将来のパフォーマンスを積極的に予測し、特定の機能まで掘り下げて先んじてトラブルシューティングを行うなど、サポートがますますきめ細やかになりつつあります。今後も向上し続けていくことでしょう。

ジュニパーの AIOps は導入を迅速化し、運用を簡略化し、TCO を削減します。

[詳細はこちら \(英語\)](#)



07 現在のフルスタック

AI ネイティブで クラウドネイティブの業界唯一の フルスタック ソリューション

ジュニパーでは、今日のキャンパスおよびブランチネットワーク全体でネットワーキングの可能性を変革する、AI ネイティブでクラウドネイティブの業界唯一のフルスタックソリューションを提供しています。

無線アクセス

シームレスで安全なモバイル接続

- 学生、買い物客、患者、従業員に適した信頼性の高い接続
- Wi-Fi を俊敏に拡張して更新
- NAC でモバイルやデバイスを特定して保護

有線アクセス

ビジネスに適した信頼性の高い安全な接続

- IoT、AP、有線デバイスに適した信頼性の高い接続
- マイクロセグメンテーションで IoT とユーザーを接続して保護
- NAC でデバイスを特定して保護

屋内位置情報サービス

インサイトに基づくパーソナライズされたユーザーエクスペリエンスを実現

- 学生、買い物客、患者、従業員との交流
- 屋内 GPS およびアセットの場所
- 位置情報に基づく分析

ブランチオフィスへの安全なアクセス

世界各地のブランチオフィスへの安全かつ信頼性の高いシームレスな接続

- 安全な SD-WAN/SASE
- 分散型の企業環境
- クラウドアプリに最適化した WAN



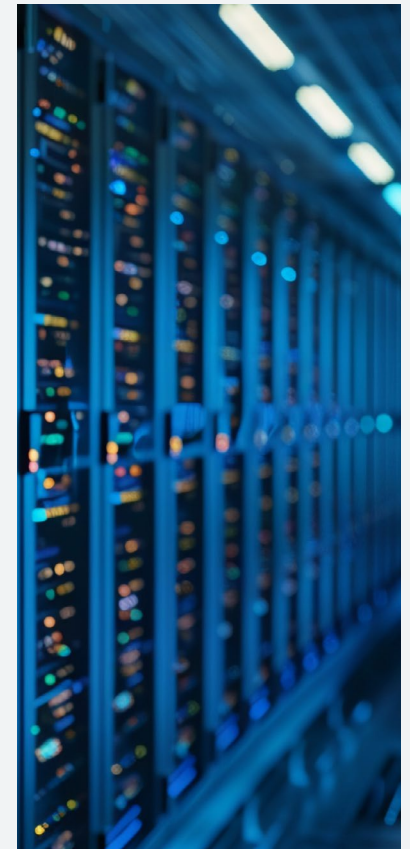
07 現在のフルスタック

ジュニパーの統合ソリューションは、テレメトリ、ワークフローの自動化、DevOps、ML の組み合わせに依存し、より順応性のある予測可能なネットワークを実現しています。ネットワークにおける AI に対するジュニパーの包括的なアプローチは、次のような多くの業界初の達成につながりました。

- 環境全体で無線エクスペリエンスを最適化する **事前対応型の AI ドリブンの RF 調整**
- 比類ない自動化、可視化、問題解決を実現する **LAN および WAN におけるダイナミックパケットキャプチャ**
- ネットワークの問題を迅速に診断して対処し、MTTR を削減して多くの障害対応チケットを排除する **根本的原因の自動分析**
- 有線、無線、WAN のネットワークの潜在的な問題を、ユーザーに影響が出る前に先んじて検出して対処する **AI ネイティブデジタルエクスペリエンスツイン**

ジュニパーの AI ネイティブフルスタックは、その名の通りキャンパスやブランチに関わらず、分散型の企業環境にまで拡張します。以下がその例です。

- **AI ネイティブ VNA** は、IBN（インテントベースネットワーク構築）システムと連携した直感的な対話型インターフェイスを介し、事前対応型のインサイトと簡略化したナレッジベースクエリによってデータセンターの運用を刷新することで、稼働時間を向上させ、解決時間を短縮します
- **Juniper Mist ルーティングアシュアランス**は、高度な WAN の運用に AIOps を活用することで、ルーティングの可視化、事前対応型のインサイト、トラブルシューティングの簡略化、MTTR/MTTI の低減、根本的原因の自動分析をエンタープライズエッジで実現します
- **AI ネイティブセキュリティ**は、キャンパス環境、ブランチ環境、データセンター環境、クラウド環境にまたがるジュニパーのスイッチ、ルーター、AP 全体を、クラス最高の脅威保護機能を備えた適切かつ安全なインフラストラクチャを通じて可視化して強化し、ネットワークとセキュリティ運用チーム全体の生産性を高めます



従来のフルスタック

厳格：

マーキテクチャでは高いパフォーマンスを約束するものの達成は叶わない。寄せ集めで作られたソリューション

手間のかかる管理：

複数の管理インターフェイスを要する。CLIが複雑であることが多い

限定的な統合：

ネットワーキング環境やソリューション全体でシームレスに統合できない

事後対応型：

問題が発生してから手動で対応する必要がある

現在のフルスタック

ダイナミック：

現在から将来にかけての企業のニーズに応えるように設計

AI ネイティブの管理：

統合型 AI で一から構築された一元的な管理

包括的な統合：

最先端の LAN、WAN、データセンター、屋内位置情報サービス、セキュリティ、オープン API アーキテクチャを特徴とした統合型プラットフォームで、ServiceNow、Teams/Zoom、Cradlepoint、Zebra などとシームレスに統合

事前対応型：

問題を特定し、ユーザーに影響が出る前に軽減が可能

メリットの スナップショット

AI ネイティブフルスタックアプローチは、複雑なキャンパス環境やブランチ環境に前例のない効率化をもたらします。実例をいくつかご紹介しましょう。

「ジュニパーが提供するネットワークのユーザーエクスペリエンスは、市場の他のものはるかに凌駕しています。ジュニパーの容易な運用と、自己修復機能、それに提供されるユーザーエクスペリエンスメトリクスは非常に優れています」

ニール・ホールデン、Halfords の CIO

8 倍に高速化 ネットワークの更新

ジョージワシントン大学、エクスペリエンスを強化

クラウドで管理する最新の有線および無線ネットワークにより、ネットワーク管理やトラブルシューティングが簡略化されることで、IT 担当者やユーザーの エクスペリエンスが一貫して高められるようになりました。

50 万米ドル を超える年間削減額

ブレント・ロンドン自治区、スタッフの生産性が向上

AI ネイティブネットワークにより、問題が明確に可視化され、修正の提案も行われることで IT 担当者が問題を把握できるようになり、継続的な管理上の課題が合理化されました。

90% を超える ネットワーク障害 対応チケット削減率

Halfords、AIOps を活用して小売業を変革

Halfords は、クラウドネイティブ、AI ネイティブアプローチへの転換を図ることで、次世代の小売業ショッピングソリューションを実現しながら 管理上の課題の簡略化を達成しました。

フルスタックネットワーキングのアクションガイド

これまでのネットワーキングテクノロジーの導入と進化の広範さを考えると、キャンパスおよびブランチ向けネットワーキングは長らくその複雑さに圧倒されてきました。AI ネイティブネットワーキングを導入すれば、すべてが変わります。

ネットワークはキャンパス環境およびブランチ環境で常に成長し、変化し続けますが、AI ネイティブフルスタックアプローチにより、コントローラや細分化された管理プラットフォームなどの不必要に複雑なものが排除され、IT 環境全体で最先端のソリューションと連携する前例のない機会がもたらされます。さらに、成果の最大化を実現するのに必要な「ちょうどよい」AI 機能レベルを提供し、最低限の TCO や OpEx でユーザーや IT 担当者の格別なエクスペリエンスをサポートします。

高級ワインのように、あとは時間とともに良くなるばかりです。

01

PoC の機会を見極める

キャンパスおよびブランチ環境で機会を見極め、PoC に取り組みましょう(新しい拠点やアプライアンスのアップグレードなど)。

02

低リスクのトライアルから開始する

ジュニパーの AI を試し、本番トラフィックに導入して、お客様の組織にジュニパーのソリューションが適しているかどうかをご確認ください。フルスタックのどの段階からでも、Wi-Fi、スイッチング、SD-WAN のソリューションのどの組み合わせでも開始できます。

03

違いを体験する

AI ネイティブアプローチがいかに簡略化、生産性向上、信頼性向上を実現するかをご確認ください。

04

導入を拡大する

キャンパスおよびブランチ、NAC、データセンター、ファイアウォール、エンタープライズエッジなどの他の場所にも取り入れることで、範囲を拡大しましょう。

次のステップ



ジュニパーのフルスタックの詳細

フルスタックの可能性や、キャンパスおよびブランチソリューションの詳細をご覧ください。

[ソリューションのご紹介 →](#)

[ジュニパーの AI をお試しください \(英語\) →](#)



Mist AI in action

Juniper Mist AI の最新のマイクロサービスクラウドが、真の可視性、自動化、アシュアランスをいかにもたらすかをご覧ください。

[オンデマンドデモをご覧ください →](#)

ジュニパーを選ぶ理由

ジュニパーネットワークスは、単なる接続性は優れた接続エクスペリエンスと同じではないと考えています。ジュニパーの AI ネイティブネットワーキングプラットフォームは、AIを活用し、エッジからデータセンター、クラウドにいたるまで、最高かつ安全なユーザーエクスペリエンスを実現することを目的に、ゼロから構築されています。詳細については www.juniper.net/jp/ja をご覧くださいか、[X](#) (旧 Twitter)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) のジュニパーのアカウントをご確認ください。

ジュニパーネットワークスの AI ネイティブネットワーキングフルスタックソリューションの詳細については、ジュニパーの担当者またはパートナーにお問い合わせいただくか、ジュニパーの Web サイトにてご確認ください。Web サイト URL: <https://www.juniper.net/jp/ja/campus-and-branch.html>

注記と参照先

- 01 「Network Management Megatrends 2024: Skills Gaps, Hybrid and Multi-Cloud, SASE, and AI-Driven Operations」。 [EMA のオンデマンドのオンラインセミナー](#)
- 02 同上
- 03 同上
- 04 The NetOps Expert のポッドキャスト、 [エピソード 9](#) :「The NetOps Expert の AI/ML and NetOps—A Conversation with EMA」、2024 年 7 月。

JUNIPER
NETWORKS

Juniper.net

© Copyright Juniper Networks Inc. 2024.
All rights reserved.

Juniper Networks Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089

7400201-001-JP 2024 年 10 月

Juniper Networks Inc.、ジュニパーネットワークスのロゴ、juniper.net、Marvis、および Mist AI は、Juniper Networks Incorporated の登録商標であり、アメリカ合衆国および世界中の多くの地域で登録されています。その他の製品名やサービス名は、ジュニパーネットワークスまたは他の企業の商標である場合があります。本文書は初版発行時点での情報であり、ジュニパーネットワークスによって随時変更される可能性があります。ジュニパーネットワークスが営業している地域であっても、国によってはご利用になれない製品またはサービスがある場合があります。